学校番号	３２０

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説世界史B　(山川出版社)						
副教材等	アカデミア世界史(浜島書店) 、時代と流れで覚える世界史Ｂ用語（文英堂）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史地図・図表・年表などを使用することで、各時代の流れや特徴をつかみ、歴史的なものの見方や考え方を身につけるようにする。また、問題集を併用することで、さらに理解を深めるようにする。

2　学習の到達目標

世界歴史の大きな枠組みと流れを日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	世界の歴史を、日本の歴史などと関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている	世界の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や日本の歴史などと関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	世界史への扉①　気候変動と私たち人類の生活	・気候変動という地球的現象を歴史的に考察し，人類の生活形態や行動様式に大きな影響を与えてきたことに気付く。	○	○	○	○	a:自然環境と人類の関わりを地理的視点に立って考察することをとおして，世界史学習の意欲を高めている。 b: 氷期や火山の噴火といった気候変動の内容と，その危機に人類がどのように立ち向かってきたかを，主体的に考察し，文章にまとめる。 c: 自然の脅威や伝染病の拡大といった歴史や，これから起こり得る危機を考察した結果をレポートなどにまとめたり，発表したりする。 d: 人類が受けてきた自然環境の制約とそれに適応するための手段を考察することにより，世界史学習における地理的視点の重要性を探究している。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	世界史への扉②　漂流民のみた世界	・外国の様子を直接見聞した漂流民の活動から，日本と世界の接触・交流の具体的様相，および日本史と世界史との密接な繋がりに気付く。	○	○	○	○	a: 漂流民が日本の視野を広げ，世界との接触・交流を促す役割を果たしたことへの理解をとおして，世界史学習への意欲を高めている。 b: 漂流民の活動から，日本史と世界史の関連や交流の歴史的な意義，現代に受け継がれてきた課題を主体的に考察し，文章にまとめる。 c: 漂流民の知的関心やコミュニケーション能力の果たした意義をレポートなどにまとめたり，発表したりする。 d: 日本と世界の歴史的繋がりを考察することにより，世界史学習における異文化理解の重要性を探究している。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	世界史への扉③　砂糖からみた世界の歴史	・砂糖という身近な日常品の歴史を辿ることから，世界史の諸問題がとらえられることに気付く。	○	○	○	○	a: 砂糖生産の伝播にイスラーム世界が大きな役割を果たしたことへの理解をとおして，世界史学習への意欲を高めている。 b: 砂糖の生産や消費の変遷，現代では大衆化しているコーヒーや紅茶との出会いが世界にもたらした結果を，主体的に考察し，文章にまとめる。 c: 砂糖など日常何気なく利用している品の用途の変化や，その生産・消費の世界史における意義をレポートなどにまとめたり，発表したりする。 d: ・砂糖・コーヒー・紅茶といった日常的に利用し，慣習化している事柄を考察することにより，世界史との繋がりを見出している。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

〃	序章　先史の世界	・人類が自然環境に適応しながら進化し，農耕・牧畜を基礎とする諸文明を築き上げたことに気付くと同時に，人類と言語の分化を理解する。	○	○	○	○	a：人類の進化とその特徴について，関心を持って学習しようとしている。 b：人類の進化の過程，農耕・牧畜の開始の意義などを，多角的に考察し，文章にまとめる。 c：進化図や道具図，洞穴絵画などの図版や写真，教科書に掲載されている諸言語の系統分類表を適切に活用している。 d：人類の進化，文明の成立，人類と言語の分化に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	第Ⅰ部　第1章　オリエントと地中海世界　1　古代オリエント世界	・西アジア世界の地理的特質を把握し，オリエント文明の盛衰，イラン人の活動を理解する。	○	○	○	○	a：メソポタミアとエジプトの灌漑農業を基盤とした古代文明を，関心を持って学習しようとしている。・アケメネス朝やササン朝の文明の果たした役割を追究しようとしている。 b：六十進法や暦など，オリエントの古代文明の現代にまで与えている影響の大きさを考察し，文章にまとめる。 アケメネス朝やササン朝の文明が，東西諸民族の交流やその文明に影響を与えたことを考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているメソポタミア・エジプトの各文明の資料・図版・写真などを適切に活用している。 アケメネス朝やササン朝の文明を代表する工芸品の図版を活用している。 d：西アジア世界の地理的特質，メソポタミアとエジプトを中心としたオリエント世界の展開，イラン人王朝の活動とその文明の特徴を理解し，その基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	2．ギリシア世界	・地中海一帯の地理的特質を把握し，エーゲ文明，ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解する。	○	○	○	○	a：オリエントの影響を受けたエーゲ文明とポリスを中心とするギリシア文明の意義を探究しようとしている。 b：ギリシア文明がアレクサンドロスの遠征で広く西アジア一帯に伝えられたことや，民主政治がのちの世界に与えた影響を考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているギリシア世界の地図やアテネ市街図・重装歩兵の図版，文化一覧表などの諸資料を適切に活用している。 d：地中海一帯の地理的特質，ギリシア文明の形成とその基盤となったポリス世界の特色について，基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

〃	3．ローマ世界	・都市国家から大帝国に発展したローマ文明の特質を理解する。	○	○	○	○	a：ローマ世界の特色とキリスト教発展の意義を，関心を持って学習しようとしている。 b：皇帝理念やキリスト教の発展をもたらしたローマ文明と，のちのヨーロッパ世界との繋がりを多角的に考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているローマ世界の地図や図版，文化一覧表などの諸資料を適切に活用している。 d：ローマの帝国化の過程やローマ法，皇帝理念，キリスト教などについて把握し，基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	第2章アジア・アメリカの古代文明1インドの古典文明	・南アジアの地理的特質を把握し，インド文明の成立と発展，独自の宗教・社会制度など，南アジア世界の形成過程を理解する。	○	○	○	○	a：南アジアの多様な自然条件の中で，北インドを中心にインダス文明やアーリヤ人の諸国家が形成，発展していったことを，関心を持って学習しようとしている。・バラモン教やヴァルナ制度，仏教の特徴について関心を持って学習しようとしている。 b：インダス文明の都市的な性格，マウリヤ朝・グプタ朝の発展と宗教との繋がり，南インドの非アーリヤ人王朝の動向を多角的に考察し，文章にまとめる。ヒンドゥー教とカースト制が南アジア世界に統一性を与える要素となったことや，仏教の伝播の意義を多角的に考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているインダス文明とアーリヤ人の進入を示した地図やインド諸王朝の領域図，仏教伝播の資料，遺跡や仏像などの写真を適切に活用している。 d：高度な都市文明であったインダス文明の特色とアーリヤ人・非アーリヤ人の王朝の展開を理解し，その基本的な知識を身につけている。・ヒンドゥー教とカースト制の特徴，南アジアにおける仏教衰退の理由を把握し，その基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	2．東南アジアの諸文明	・東南アジアの地理的特質を把握し，東南アジア世界における国家形成の過程を理解する。	○	○	○	○	a：東南アジアの諸民族独自の歩みや国家形成を，南アジア文明や中国文明の影響と関連させながら学習しようとしている。 b：東南アジアの諸民族が海上交易の拡大に伴って港市国家を形成・発展させていった過程を多角的に考察して把握し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている東南アジアの地図や宗教遺跡などの写真を適切に活用している。 d：東南アジア諸民族がインド・中国文明の影響を受けながら，独自の発展をしていったことを理解し，その基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

〃	３．中国の古典文明	・東アジアの地理的特質を把握し，中国文明の起源，殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解する。	○	○	○	○	a：モンスーン気候地帯に属している東アジア世界の風土とともに，黄河・長江の新石器文明から殷・周，秦・漢帝国という中華文明形成期の社会や文化の特質を追究しようとしている。 b：殷・周時代の文字や秦・漢帝国の皇帝観など，中華文明の重要な要素の出現の意義を考察し，文章にまとめる。周辺諸国との冊封関係などから，中国を中心とする東アジア世界の骨格が形成されたことを考察し，文章にまとめる。 c：農耕を中心とする東アジアの社会や生活，文化や思想に関する資料を収集し，考察した結果を適切に表現している。教科書に掲載されている東アジアの地勢図や歴史地図，図版を適切に活用している。 d：中国文明の起源である黄河・長江文明，殷・周時代と春秋・戦国時代の社会変動や新思想の形成を理解し，その基本的な知識を身につけている。秦・漢帝国の意義や世界との繋がりを理解し，その基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	４．南北アメリカ文明	・先住民による南北アメリカ文明の形成とその特色を理解する。	○	○	○	○	a：南北アメリカ文明の基層文化とインカ・アステカ両王国の特色を，関心を持って学習しようとしている。 b：アメリカ先住民の農耕文明の特色と，マヤ文明などの都市文明の独自性を考察し，文章にまとめる。 c：南北アメリカ文明の形成とその特色を考察する際，地図や遺跡などの写真を適切に活用している。 d：アメリカ先住民の農耕文明や，マヤ・アステカ・インカといった南北アメリカ諸文明の特色を把握し，その基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	３章内陸アジア世界・東アジア世界の形成 １．草原の遊牧民とオアシスの定住民	・内陸アジアの地理的特質を把握し，台頭した遊牧民とその国家の動向を，オアシス民の活動とともに理解する。	○	○	○	○	a：スキタイの影響を受けた匈奴など騎馬遊牧民による国家の活動を，オアシス民の生活と比較しながら学習しようとしている。 b：内陸アジア東部に進出した匈奴を代表とする騎馬遊牧民の動向を，その文化や軍事力と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている内陸アジアの地勢図，オアシスの生活を理解するカレーズなどの図版や遊牧民写真などを適切に活用している。 d：内陸アジアの乾燥した風土を理解し，匈奴を代表とする騎馬遊牧民と秦・漢帝国のオアシス都市の覇権をめぐる抗争に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

〃	2．北方民族の活動と中国の分裂	・東アジアにおける北方遊牧民族の動向と，三国時代から魏晋南北朝という中国の分裂と動乱の時代を理解する。	○	○	○	○	a：北方諸民族の王朝と江南に移った漢族の王朝の興亡に関して，その社会経済や文化を比較しながら学習しようとしている。 b：魏晋南北朝時代の社会経済の変化，日本をはじめとする周辺国家の形成を中国史全体の流れと関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている分裂時代の諸王朝の領域図や，魏晋南北朝の系統図などの資料や図版を適切に活用している。 d：遊牧民の華北進出と定住化，均田制などの新しい制度のしくみを理解し，中国分裂期の基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	3．東アジア文化圏の形成	・隋唐帝国の国家制度や文化，日本を含む東アジア世界諸国の国家体制の整備やその動向を理解する。	○	○	○	○	a：隋唐帝国の成立が遊牧民と漢人の融合，内陸アジアでの突厥の成立を背景にしていることを理解し，その役割を日本など隣接諸国の動向とともに学習しようとしている。 b：唐王朝が名実ともに東アジア文化圏を形成したことを，その築き上げた整然とした国家制度や文化から判断し，文章にまとめる。 c：唐王朝の社会や文化の国際性を示す資料・図版・写真などを適切に活用している。 d：律令制度や文化の理解に加え，唐王朝が東アジア世界と内陸アジア世界を含む政治的秩序を形成したことを把握し，日本や新羅などの国家体制の整備に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	第Ⅱ部第4章イスラーム世界の形成と発展1イスラーム世界の形成	・イスラーム世界成立の背景とその特質，アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する。	○	○	○	○	a：ムハンマドの活動やイスラーム教の特質について，関心を持って学習しようとしている。イスラーム帝国の統治システムについて，関心を持って学習しようとしている。 b：イスラーム教の成立を西アジアの情勢や社会的な背景と関連づけて考察し，文章にまとめる。アラブ帝国とイスラーム帝国の差異，イスラーム世界の拡大について，多角的に考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているイスラーム以前の西アジアの地図やイスラーム世界の領域図，ウマイヤ＝モスクやコルドバのモスクなどの写真を適切に活用している。 d：イスラームの特質やその形成過程について，基本的な知識を身につけている。カリフによる征服活動や，イスラーム法に基づくアッバース朝の国家体制に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	2．イスラーム世界の発展	・トルコ系民族が内陸アジアから進出し，ムスリムの連携を維持しながらイスラーム世界を拡大させていった過程を理解する。	○	○	○	○	a：イスラーム世界の分裂と変容の過程について，関心を持って学習しようとしている。 b：イスラーム世界の東方への拡大と西方における変容を，内陸アジア世界やヨーロッパ世界の動向と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている 11 世紀後半のイスラーム世界の地図，マムルークの図版やアズハル＝モスクの写真などを適切に活用している。 d：トルコ系民族を軸としたイスラーム世界の諸地域における発展に関して，基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

〃	3インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化	・インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化など，イスラーム世界の拡大の過程を理解する。	○	○	○	○	a：インドや東南アジア，アフリカのイスラーム化とその地域に与えた影響について，意欲的に学習しようとしている。 b：インドや東南アジアなど諸地域世界のイスラーム化の影響を，現代の国際政治・社会の視点から考察し，文章にまとめる。 c：インドや東南アジアへのイスラームの伝播を示す地図，アフリカのイスラーム化に関する地図や図版などを適切に活用している。 d：諸地域世界のイスラーム化の過程，ムスリム商人や神秘主義(スーフィー)教団の果たした役割に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	4．イスラーム文明の発展	・イスラーム文明の特質とその影響，学問と文化活動の内容，イスラーム都市を中心としたネットワークの役割を理解する。	○	○	○	○	a：イスラーム文明の具体的な影響や役割，形成されたネットワークの意義について意欲的に学習しようとしている。 b：イスラーム世界の統一性が守られてきた理由を，イスラーム文明の基盤から考察し，文章にまとめる。 c：イスラームの生活を理解する図版・写真などを適切に活用している。 ・音楽やミニアチュールなどを活用し，イスラーム文明の特色に触れることができている。 d：イスラーム文明が古代以来の西アジア文明を基盤としてユーラシア各地の要素を加えて形成された融合文明であることを理解しその学問と文化活動の基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	第5章ヨーロッパ世界の形成と発展1西ヨーロッパ世界の成立	・地中海世界解体後，ヨーロッパ世界が東西に分かれ，ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは，外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったことを理解する。	○	○	○	○	a：フランク王国とローマ教皇の提携の意義，ノルマン人などの諸民族侵入の影響について，関心を持って学習しようとしている。 b：地中海世界の解体をゲルマン人の移動やイスラーム勢力の進出と関連づけて考察し文章にまとめる。封建社会の仕組みとローマ教皇権の発展を多角的に考察し文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている地勢図や領域図，ゲルマンなど諸民族の移動図などを適切に活用している。 d：ゲルマン人の移動やノルマン人などの諸民族の侵入による影響，フランク王国とローマ教皇の提携の意義など，西ヨーロッパ世界の形成と発展に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

〃	2．東ヨーロッパ世界の成立	・ビザンツ帝国の繁栄とその社会や文化，スラヴ人と周辺諸民族の自立の過程を理解する。	○	○	○	○	a：ビザンツ帝国の特色とスラヴ人など周辺民族の活動を意欲的に学習しようとしている。 b：ビザンツ帝国の首都コンスタンティノープルが経済的に発展した理由や，帝国とスラヴ人との関係を多角的に考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているビザンツ帝国や東ヨーロッパ世界の領域図，特色ある聖堂や聖母子のイコン，モザイク壁画などの図版を適切に活用している。 d：ビザンツ帝国やスラヴ人諸国家によって形成された，東ヨーロッパのギリシア的世界の多様性に関して，基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	3．西ヨーロッパ中世世界の変容	・十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。	○	○	○	○	a：西ヨーロッパの中世都市の発展や封建社会の変容過程を，関心を持って学習しようとしている。 b：封建社会の変容やヨーロッパの拡大を，国王による中央集権化と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている十字軍と西ヨーロッパ勢力の拡大，中世都市・交通路と二大商業圏などの地図や，マグナカルタ・英仏の系図などの資料，図版を適切に活用している。 d：西ヨーロッパ封建社会の変容，中世都市と商業の発展，諸国の国王による中央集権化の過程に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	4．西ヨーロッパの中世文化	・教会と修道院，大学やスコラ学などから，ヨーロッパ中世文化の特色を理解する。	○	○	○	○	a：中世文化の特色とキリスト教会の果たした役割について関心を持って学習しようとしている。 b：修道院運動やイスラーム文明の影響など，中世ヨーロッパ文化を多面的に考察し，文章にまとめる。 c：教会建築や騎士道物語，当時の農民や都市の生活の様子を理解する図版などにより，中世ヨーロッパ社会の特色に触れることができている。 d：修道院の果たした役割，12 世紀ルネサンスや美術・文学など，中世文化に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

後期	第6章内陸アジア世界・東アジア世界の展開1トルコ化とイスラーム化の進展	・内陸アジア世界におけるトルコ人の活動とイスラーム化の進展を理解する。	○	○	○	○	a：トルコ人のイスラーム化と西方への民族移動の世界史的影響について関心を持って学習しようとしている。 b：トルコ民族の内陸アジアにおける台頭を，トルキスタンの成立と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている中央アジアのトルコ化と東西トルキスタンの地図，「ハープを弾く女性」などの図版を適切に活用している。 d：遊牧国家ウイグルの崩壊以降，トルコ系遊牧民が広く内陸アジアに定住し，イスラーム化していったことに関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	2．東アジア諸地域の自立化	・契丹や女真といった遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替，宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。	○	○	○	○	a：中国周辺諸国の変化，契丹や女真と宋の政治的・軍事的対立と交流，宋代の産業や文化の発展について関心を持って学習しようとしている。 b：中国周辺諸国の独自の文化形成，遊牧諸国家の支配体制の特徴，宋の統治体制とその社会や文化の特色を，東アジア文化圏の統合力の変化という視点から考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている通行証に記された諸民族の文字や「清明上河図」など宋代の社会・文化の特色を示す写真・図版などを適切に活用している。 d：日本や高麗といった東アジア周辺諸国の政治権力の交替や文化の確立に関する基本的知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	3．モンゴルの大帝国	・モンゴル帝国の興亡と，その活動が日本を含む諸地域世界に与えた影響の大きさを理解する。	○	○	○	○	a：モンゴル帝国が掌握した内陸アジア全体におよぶネットワークとその影響について，関心を持って学習しようとしている。 b：モンゴル帝国が内陸アジア諸都市の，また元朝が海域のネットワークを支配下においた意味を，社会経済的な視点から考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているモンゴル帝国の領域図や帝室の系図・図版・写真などを適切に活用している。 d：モンゴル帝国のユーラシアと元朝の東アジア支配の過程と，その支配の特色に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

〃	第Ⅱ部第7章アジア諸地域の繁栄1東アジア世界の動向	・中華帝国を再現した明朝の動向とともに，朝鮮や日本など東アジア世界の状況を理解する。	○	○	○	○	a：明朝の経済的繁栄と銀経済の進展，科学技術への関心を特色とする文化活動について，関心を持って学習しようとしている。 b：明朝が近隣諸国との間に築き上げた冊封＝朝貢体制の変化を，日本や女真などの動向を中心とした東アジアの状況と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている明の領域図や周辺諸地域図，14～16 世紀の東アジア・東南アジア諸国の年表や図版などを適切に活用している。 d：明朝の発展による朝貢世界の確立とその動揺に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	２．清代の中国と隣接諸地域	・清朝の形成した広大な領域支配とその社会や文化とともに，東アジア世界の動向を理解する。	○	○	○	○	a：清代の中国とチベットや琉球・日本・朝鮮といった隣接諸地域の動向に関して，関心をもって学習しようとしている。 b：清朝と周辺諸地域との関係の変化を，東南アジアの状況やヨーロッパ勢力の活動と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている清朝の領域図や周辺諸地域図，チベットや琉球の図版などを適切に活用している。 d：清朝の中国統治や宣教師によってもたらされた文化の特色，その隣接諸地域の動向に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	３トルコ・イラン世界の展開	・トルコ・イラン世界に誕生したイスラーム帝国の動向とその社会や文化の特質を理解する。	○	○	○	○	a：ティムール朝，オスマン帝国，サファヴィー朝の領域拡大の過程や興隆について，関心を持って学習しようとしている。 b：中央アジア，西アジアに成立した広大な版図を持つ各イスラーム諸王朝の支配の特色や共通点を考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているオスマン帝国とサファヴィー朝の最大領域を示す地図や，モスクなどの図版を適切に活用している。 d：オスマン帝国などのイスラーム帝国の強大な皇帝権や官僚制，ヨーロッパ世界との関わり，異民族統治の特色に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

〃	4ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展	・南アジアに誕生したムガル帝国の動向とインド社会や文化の変化，東南アジア交易の発展を理解する。	○	○	○	○	a：インドにおけるイスラーム支配とヒンドゥー教徒との融和や対立について関心を持って学習しようとしている。 b：ムガル帝国の支配の特色やその政策の変化を，インドの地方勢力に与えた影響と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載のムガル帝国の領域を示す地図，インドや東南アジアの図版や写真を適切に活用している。 d：ムガル帝国の統治システムやイスラーム教徒とヒンドゥー教徒融合の試み，インド地方政権の台頭，東南アジア交易世界の発展に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	第8章近世ヨーロッパ世界の形成1ヨーロッパ世界の拡大	・ヨーロッパ世界の拡大とアメリカ大陸の征服，それに伴うヨーロッパ社会の変革の動きを理解する。	○	○	○	○	a：新航路の開拓事業や征服活動と，それに伴うアメリカ先住民社会の変容や商業革命に関して，意欲的に学習しようとしている。 b：大航海時代を世界の一体化や資本主義経済発達の基盤と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているヨーロッパ人の航路と探検図，世界地図やアステカ征服の図版などの資料を適切に活用している。 d：大航海時代の探検・征服事業の過程とアメリカ先住民社会の変容に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	2．ルネサンス	・ルネサンスのもたらした芸術・思想・科学の変革の内容と意義を理解する。	○	○	○	○	a：ルネサンスの背景と影響，芸術作品に関して，意欲的に学習しようとしている。 b：ルネサンスを中世世界の継承・発展という側面と，近現代の出発点という両面から多角的に考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている作品群やルネサンス期の文化と美術の一覧表などを適切に活用している。 d：ルネサンスの意義やその具体的な文芸と美術に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	3．宗教改革	・ドイツから始まった宗教改革の理念とその拡大，カトリック教会の対応を理解する。	○	○	○	○	a：宗教改革の背景と影響，宗派や広がった国家による差異に関して，意欲的に学習しようとしている。 b：宗教改革やカトリック教会の革新を，世俗の政治秩序の変化と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている新旧両教派の分布地図や「九十五カ条の論題」などの資料，図版を適切に活用している。 d：ルター，カルヴァンによる宗教改革の拡大，イギリスの改革，対抗宗教改革に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

〃	**4ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成**	・近代国家の原型となった主権国家体制の特色と，体制の形成に向かうヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向を理解する。	○	○	○	○	a：ヨーロッパ諸国がたがいに独立した主権国家として競合しながら国際秩序を形成していった過程を，関心を持って学習しようとしている。 b：オランダ・フランス・イギリスといったヨーロッパ諸国の勢力交替を，「17世紀の危機」の時代を境界として考察し，文章にまとめる。ウェストファリア条約の意義や東ヨーロッパの動向を，プロイセンやロシアを軸に考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているヨーロッパ主権国家の領域地図や内乱，戦闘の図版を適切に活用している。 d：15世紀末からヨーロッパ諸国が主権国家体制を確立していった過程に関する基本的な知識を身につけている。三十年戦争に代表される，17世紀前半の「危機の時代」におけるヨーロッパ諸国の動向に関して，基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	**第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 1重商主義と啓蒙専制主義**	・17～18世紀におけるヨーロッパ主権国家諸国の動向を，重商主義と啓蒙専制主義を柱として理解する。	○	○	○	○	a：イギリス革命やフランスを中心とした国家間の抗争，東ヨーロッパ諸国の台頭を，関心を持って学習しようとしている。 b：17～18 世紀のヨーロッパ諸国の活発な経済活動と植民地争奪戦争を，重商主義と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている 18 世紀半ばのヨーロッパ諸国の領域をあらわした地図や図版，王家の系図や「権利の章典」などの資料を適切に活用している。 d：議会政治の確立したイギリス，ルイ 14 世の時代のフランス，プロイセンとオーストリアの抗争，バルト海の覇権をめぐる戦いなど，17～18 世紀におけるヨーロッパ諸国の動向に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	**2ヨーロッパ諸国の海外進出**	・ヨーロッパ諸国の植民地争奪と大西洋世界の三角貿易のもたらした国際的枠組みを理解する。	○	○	○	○	a：アジア市場とアメリカの植民地をめぐるヨーロッパ諸国の抗争の過程と，三角貿易のもたらした国際的な社会・経済の変化について，関心を持って学習しようとしている。 b：大西洋世界で確立した三角貿易が西ヨーロッパ有力国にもたらした莫大な利益を，産業革命の前提条件である資本の蓄積と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている 17 世紀半ばのヨーロッパ諸国の植民地をあらわした地図，社会風俗の図版などを適切に活用している。 d：西ヨーロッパ諸国の経済活動と植民地争奪戦争の状況，その結果としてアメリカ・アフリカを巻き込んだ大西洋世界に近代分業システムが成立したことに関して，基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

〃	3．17～18世紀のヨーロッパの文化と社会	・17～18 世紀におけるヨーロッパ文化の特色と，それを生み出した社会状況を理解する。	○	○	○	○	a：科学革命と啓蒙思想を背景とするヨーロッパの文芸思潮について，関心を持って学習しようとしている。 b：17～18 世紀におけるヨーロッパ文化の特色を，宮廷文化と市民文化とを対比しながら考察し，文章にまとめる。 c：バロックやロココの美術作品の図版や啓蒙思想家の著作から，その文化の特色に触れることができている。 d:啓蒙思想や社会契約説と、現代の民主政治の仕組みとの関係について、基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	第10章近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立1産業革命	・イギリス産業革命の背景と展開，産業資本主義体制の確立とその影響について理解する。	○	○	○	○	a：産業革命の世界史的背景，技術革新や交通革命の進展と波及について，関心を持って学習しようとしている。 b：資本主義体制の確立と社会の変容について，社会問題・労働問題と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている産業革命期の地図や図版，都市の人口増を示す表などの諸資料を適切に活用している。 d：産業革命が最初にイギリスに起こった理由，繊維部門の技術革新と交通機関の改良，資本主義体制が世界市場に与えた影響などに関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	2．アメリカ独立革命	・アメリカ独立革命の経過と，独立が近代民主政治に与えた影響を理解する。	○	○	○	○	a：共和政の大国を確立したアメリカの独立と，その憲法の内容や思想的背景を関心を持って学習しようとしている。 b：アメリカ独立革命が提起した近代市民社会の原理を，現代社会の諸問題と対比しながら考察し，文章にまとめる。 c：「独立宣言」の抜粋などの資料から，近代民主政治の基本原理に触れることができている。 d：イギリスの北アメリカ植民地の状況，独立戦争の経過と合衆国憲法の特徴に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	3フランス革命とナポレオン	・アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する。	○	○	○	○	a：フランス革命の経済的，思想的背景について関心を持って学習しようとしている。 b：フランス革命を大西洋を挟んで起きたアメリカ独立革命と対比しながら考察し，文章にまとめる。 c：「人権宣言」や革命期のおもな党派などの資料，ナポレオンの活動を表現した絵画や図版などを適切に活用している。 d：フランス革命が起こった社会構造，恐怖政治に至る革命の進展過程に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

〃	第11章欧米における近代国民国家の発展 1 ウィーン体制の成立	・ウィーン体制の成立と，その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する。	○	○	○	○	a:ウィーン体制の特色とその崩壊過程，社会主義思想の成立と普及について，関心を持って学習しようとしている。 b:1848 年革命を，ヨーロッパの「大衆貧困」といった社会問題と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c:教科書に掲載されているウィーン会議後のヨーロッパ諸国の地図や絵画・図版などを適切に活用している。 d:フランスの革命運動を中心に，ウィーン体制を崩壊させたヨーロッパ諸国の自由主義や民主主義的な政治改革の動向に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	2．ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生	・クリミア戦争以後の国際秩序の動揺と再編，イタリア・ドイツにおける国民国家の形成過程，ロシア・オーストリアの皇帝主導の近代化を理解する。	○	○	○	○	a:ロシアの南下政策とそれに伴うヨーロッパ列強の対立，イタリア・ドイツの統一の背景や過程について，関心を持って学習しようとしている。 b:クリミア戦争以後の国際対立とビスマルク外交に関して，のちの第一次世界大戦に関連づけて考察し，文章にまとめる。 c:教科書に掲載されているイタリアとドイツの統一，ベルリン会議後のバルカン半島といった地図や，写真・図版などを適切に活用している。 d:クリミア戦争とロシアの皇帝主導の近代的改革，ヴィクトリア時代のイギリスの繁栄，フランス第二帝政とその崩壊，イタリア・ドイツの統一とビスマルクによる協調外交といった，ヨーロッパ諸国の国民国家形成期の基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	3．南北アメリカの発展	・ラテンアメリカの独立，アメリカ合衆国の領土拡張と南北戦争以後の発展を理解する。	○	○	○	○	a:ラテンアメリカ独立後における社会・経済の状況を理解しようとしている。 b:環大西洋革命の視点から，ヨーロッパ諸国の動向とラテンアメリカの独立を関連づけて考察し，文章にまとめる。 c:教科書に掲載されているラテンアメリカの独立，アメリカ合衆国の領域拡大を示す地図や写真・図版などを適切に活用している。 d:ラテンアメリカの独立の経過，アメリカ合衆国の西部への領土拡張や，南北戦争以後，世界一の工業国として発展したことに関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

〃	4．19世紀欧米の文化	19 世紀の欧米文化の特徴とその成立の背景を理解する。	○	○	○	○	a:19 世紀欧米の文芸思潮の変化，近代諸科学や技術の発展の影響を意欲的に追究しようとしている。 b:ロマン主義や自然主義などの文芸思潮を，自由主義やナショナリズムの進展といった社会状況と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c:19 世紀欧米文化の美術作品の図版や文学作品などの一覧表から，その文化の特色に触れることができている。 d:19 世紀のロマン主義や自然主義などの思潮に属する文芸作品，哲学と人文・社会科学，科学・技術の発展，および地理上探検に貢献した人物たちに関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	第12章アジア諸地域の動揺1オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容	・西アジアにおけるオスマン帝国支配の動揺と改革，アラブ諸民族の覚醒，イラン・アフガニスタンの動向を理解する。	○	○	○	○	a:世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ勢力の干渉によるオスマン帝国と西アジア地域の変容について，関心を持って学習しようとしている。 b:西アジアでイスラーム教の伝統に回帰する動きやアラブ人のナショナリズムの萌芽がみられたことを，上からの近代化と比較しながら考察し，文章にまとめる。 c:教科書に掲載されている 19 世紀の西アジアとバルカン半島の地図や図版を適切に活用している。 d:オスマン帝国の動揺とタンジマート改革の挫折，アラブの民族運動，イラン・アフガニスタンの対応に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	2．南アジア・東南アジアの植民地化	・インドの植民地化とその社会の変貌，東南アジア諸国の植民地化の過程を理解する。	○	○	○	○	a:ムガル帝国の解体と東南アジアの植民地化について，関心を持って学習しようとしている。 b:インド大反乱の社会的背景やタイの植民地化回避の理由を，ヨーロッパ勢力の進出と国内情勢の双方の視点から考察し，文章にまとめる。 c:教科書に掲載されているインド・東南アジアの植民地化を示す地図，図版や写真などの諸資料を適切に活用している。 d:イギリスによるインドの植民地化とインド社会の停滞から発生した大反乱，ヨーロッパ諸国の東南アジアの分割と植民地化に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

〃	3．東アジアの激動	・ヨーロッパ諸国の干渉による清朝の動揺と近代化改革，日本の開国と台頭による東アジア国際秩序の再編を理解する。	○	○	○	○	a:アヘン・アロー両戦争，太平天国の動乱で清朝の支配が大きく動揺し，近代化への取り組みが始まったことを，関心を持って学習しようとしている。 b:民衆の結社運動と太平天国の動乱を，アヘン戦争後の社会不安と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c:教科書に掲載されているロシアの東方進出や東アジアへの動向をあらわす地図，図版や写真，諸資料を適切に活用している。 d:アヘン・アロー両戦争やロシアの進出により清朝が動揺し，洋務運動に代表される近代化への取り組みが始まったことに関して，基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	第Ⅲ部まとめ主題学習Ⅲ資料から読みとく歴史の世界	・繁栄するアジアに進出したヨーロッパ勢力により世界の一体化が進み，ヨーロッパ優位の「近代」の世界構造が構築されたことを確認する。 ・主題を設定し，選択したその時代の資料を多面的・多角的に考察し，読み解く技能を学ぶ。	○	○	○	○	a:世界の近代化のモデルがヨーロッパの国家・社会・文化であったことを確認しようとしている。 b:世界の一体化を進めたヨーロッパの国家・経済・文化の特徴を考察し，文章にまとめる。 c:諸地域世界の結合と変容を考察する際，異文化に接触した使節や旅行家の著作などの資料を適切に活用している。 d:アジアの繁栄とヨーロッパ勢力の拡大を背景とした世界の一体化，ヨーロッパ中心の世界の構造化が進展していった過程に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	第Ⅳ部第13章帝国主義とアジアの民族運動1帝国主義と列強の展開	・帝国主義の特質と，帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する。	○	○	○	○	a:欧米列強では軍事力の強化がはかられる一方で労働運動が高まりを見せるなど，国内の緊張が高まっていったことを関心を持って学習しようとしている。 b:19 世紀後半から欧米で進展した第２次産業革命と，各国の帝国主義の動きを関連づけて考察し，文章にまとめる。 c:教科書に掲載されている移民や列強の海外植民地面積の比較図，カリブ海地域の地図や図版などの諸資料を適切に活用している。 d:帝国主義の特質と，帝国主義時代における欧米列国の国内問題に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

〃	2．世界分割と列強対立	・帝国主義時代の欧米列強による世界各地の分割や植民地化をめぐる競合と，従属させられた地域社会の抵抗と変容を理解する。	○	○	○	○	a：欧米列強が植民地獲得や勢力圏拡大の競争を繰り広げた結果，列強の二極分化が進み，第一次世界大戦につながる危機が高まっていったことを関心を持って学習しようとしている。 b：経済力と軍事力を背景とする欧米列強の支配による世界の一体化が，世界各地の社会の変容に与えた影響について考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているアフリカ・アジア・太平洋地域の関連地図，同盟・協商関係図や図版などの諸資料を適切に活用している。 d：欧米列強のアジア・アフリカ・太平洋地域・ラテンアメリカにおける植民地獲得や勢力圏拡大の競争に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	3 アジア諸国の改革と民族運動	・欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動の形成を理解する。	○	○	○	○	a：帝国主義列強の侵略にさらされたアジア諸国における民族運動の形成と，このような世界情勢の中で日本が列強としてアジアへの勢力拡張に加わったことを，関心を持って学習しようとしている。 b：帝国主義列強の植民地支配を受けたアジア諸地域で民族意識が覚醒し，解放・独立をめざすナショナリズムの運動が展開されていったことを，現在の国際状況や問題と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている，東アジアにおける列強の勢力圏を示す地図や図版を活用し，現在に残る影響を把握しようとしている。 d：中国分割の危機と辛亥革命，インド，東南アジア，西アジアにおける民族運動の形成に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	第14章二つの世界大戦1第一次世界大戦とロシア革命	・第一次世界大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらし，20世紀の変動の基点となったことを理解する。	○	○	○	○	a：第一次世界大戦勃発の経緯，戦時外交と総力戦の性格について，関心を持って学習しようとしている。 b：第一次世界大戦勃発の経緯，戦時外交と総力戦の性格について，関心を持って学習しようとしている。 c：教科書に掲載されているバルカン諸国や第一次世界大戦の戦場となった地域や領土拡大をあらわす地図，新兵器などの図版を適切に活用している。 d：第一次世界大戦の帝国主義諸国間の覇権争いとしての性格，経過と影響に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

〃	2．ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	・国際協調を基調としたヴェルサイユ体制下の欧米諸国の動向を理解する。	○	○	○	○	a：戦間期の国際協調と平和への取り組みが実を結ばなかった理由について，関心を持って学習しようとしている。 b：ヴェルサイユ・ワシントン両体制のもたらした緊張関係や矛盾を多角的に考察・追究し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているドイツ国境を中心としたヨーロッパの地図，ドーズ案後の資本の国際的循環を示す諸資料，図版・写真などを適切に活用している。 d：ヴェルサイユ・ワシントン両体制の問題点と，アメリカの繁栄，ソ連邦の社会主義建設といった欧米諸国の動向に関して，基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	3．アジア・アフリカ地域の民族運動	・中国や東南アジア諸国，インド，トルコや西アジア諸国，アフリカの民族運動の展開を理解する。	○	○	○	○	a：アジア諸民族の民族運動が大衆的な基盤を持ち，世界史の新しい潮流をつくり出したことについて，関心を持って学習しようとしている。 b：日本と中国，イギリスとインドやイスラーム諸国といった，干渉国と民族運動の高揚の関係を多角的に考察し，追究している。 c：教科書に掲載されている 1920～30 年代の中国，第一次世界大戦後の西アジアの地図，図版・写真などを適切に活用している。 d：中国における民族運動の高揚，ガンディーを中心としたインドの民族運動，ムスタファ＝ケマルによるトルコ革命など，アジア諸地域で展開された大衆的な基盤を持つ民族運動に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	4．世界恐慌とファシズム諸国の侵略	・世界恐慌以降の欧米諸国の動向や東アジアの状況から，国際的な緊張が高まる時代を理解する。	○	○	○	○	a：イタリア・ドイツ・日本のファシズムの特徴と勢力拡張の過程について，関心を持って学習しようとしている。 b：ファシズムという運動を 20 世紀における大衆社会の出現と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている世界恐慌中の工業生産の推移を示す諸資料，日中戦争の地図，図版・写真などを適切に活用している。 d：世界恐慌の影響と欧米諸国の対応，ファシズム諸国の攻勢やソ連邦の動向に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

〃	5．第二次世界大戦	・第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大，米ソの国際的地位の高まりを理解する。	○	○	○	○	a 第二次世界大戦の開戦に至る経過，戦争の拡大と戦場の広域化，核兵器などの大量破壊兵器の被害などを，関心を持って学習しようとしている。： b：第二次世界大戦の持っていた複合的で複雑な性格を戦後の国際社会の方向性と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているヨーロッパ戦線や太平洋戦争の地図，図版・写真などを適切に活用している。 d：第二次世界大戦におけるヨーロッパから太平洋に至る戦場の広域化，強制収容所の建設や核兵器の使用といった残虐行為など，戦争の惨禍に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	第15章冷戦と第三世界の独立1戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立	・第二次世界大戦後，米・ソを中心とした冷戦体制が成立し，東西両陣営に世界が分裂したことを理解する。 ・中華人民共和国の成立や朝鮮の分断，アジア諸地域の独立の過程を理解する。	○	○	○	○	a：米・ソそれぞれの経済協力と軍事ブロックの形成による冷戦構造について，関心を持って学習しようとしている。 b：親ソ政権樹立による東欧諸国の社会主義化とアメリカ合衆国の経済援助や「対ソ封じ込め」政策を比較しながら考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているドイツとベルリンの分割図，第二次世界大戦後のアジア諸地域の独立を示す地図や図版を適切に活用している。 d：国際連合を柱とした戦後の世界秩序の形成，ヨーロッパの東西分断と冷戦体制の確立，アジア諸地域の独立に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	2米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興	・朝鮮戦争などによる米ソ冷戦の激化から，日本・西欧の経済復興や「雪どけ」の始まりによって，国際政治や経済が多極化に向かったことを理解する。	○	○	○	○	a：朝鮮戦争後，核兵器開発競争や平和共存政策といった国際的な緊張・融和がくり返されたことについて，関心を持って学習しようとしている。 b：西欧や日本の経済的な復興や高度成長を，戦後の国際政治に与えた影響と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている朝鮮戦争の戦場をあらわす地図，冷戦時代の諸同盟や先進国の経済成長率などの諸資料，図版・写真を適切に活用している。 d：朝鮮戦争後の「雪どけ」と平和共存への試みに関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

〃	3．第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り	・戦後の20年間に段階的に独立を達成したアジア・アフリカ諸国が第三勢力として躍進し，発言力を強めたことを理解する。	○	○	○	○	a：経済的自立の困難さや開発独裁体制の成立，中国の混乱など，第三世界諸国における危機について，関心を持って学習しようとしている。 b：アジア・アフリカ新興独立諸国による第三世界の台頭とキューバ危機以降の米・ソの政策を，冷戦の緩和と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている中東戦争によるイスラエルの領土拡大をあらわす地図，諸地域の図版・写真を適切に活用している。 d：アジア＝アフリカ会議や非同盟諸国会議などに見られる，第三世界の連帯の動きに関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	4．石油危機と世界経済の再編	・ドル＝ショック，オイル＝ショック以降の国際経済の再編，冷戦の終結への流れを理解する。	○	○	○	○	a：オイル＝ショック以降の先進国の社会変容や新自由主義的改革，途上国の工業化について，関心を持って学習しようとしている。 b：冷戦の終結をゴルバチョフによるソ連の改革と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているチェルノブイリ原子力発電所の事故の写真などを，環境破壊の考察に適切に活用している。 d：オイル＝ショックなど戦後政治の転換期の動向や冷戦終結への取り組みに関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	第16章現在の世界1社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展	・東欧社会主義圏の消滅，ソ連邦の解体と民族紛争，グローバル経済の進展を理解する。	○	○	○	○	a：通商の自由化と市場経済の世界化がより進展し，地球規模での相互依存が高まったことを学習しようとしている。 b：東欧社会主義圏の解体とソ連邦の分裂，消滅について，その歴史的意味を多角的に考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている独立国家共同体の地図，ヨーロッパ統合の歩み，国内総生産による世界地図などの諸資料や写真を適切に活用している。 d：東欧社会主義諸国の改革，ソ連邦やユーゴスラヴィア連邦の解体過程，ＥＵやＮＡＦＴＡなど先進経済地域の統合化の動きに関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

〃	2．途上国の民主化と独裁政権の動揺	・途上国の民主化の進展と，アジア社会主義国家の変容を理解する。	○	○	○	○	a：ラテンアメリカやアジアの途上国における強権支配の後退と民主化の進展について，関心を持って学習しようとしている。 b：中国・ベトナムで進む市場開放と工業化の進展を，その抱える矛盾と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている天安門事件の写真などを適切に活用している。 d：ラテンアメリカやアジアの途上国で進展した民主化の過程と，アジア社会主義諸国の経済開放政策やその変容に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	3．地域紛争の激化と深刻化する貧困	・世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争，紛争解決や軍縮の試みを理解する。	○	○	○	○	a：新たな地域紛争の頻発，経済格差や深刻化する貧困問題など，現代の諸地域世界の情勢について関心を持って学習しようとしている。 b：湾岸戦争とアフガニスタンやイラクに対する対テロ戦争における国際連合の行動の差異から，新たな国際秩序の在り方を考察し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているＰＫＯ派遣数の資料や写真などを適切に活用している。 d：東欧やロシア，中東からアジアにかけて多発する地域紛争，アフリカの民主化と貧困問題，対テロ戦争と紛争解決や軍縮の試みに関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。
〃	4　現代文明の諸相	・情報技術・科学技術の発達と現代文明の抱える危機，現代思想や文化の特徴について理解する。	○	○	○	○	a：情報技術革命や生命科学の進展がもたらした生活の変化と，それに伴う環境問題などについて，関心をもって学習しようとしている。 b：地球環境の破壊といった現代文明の危機を多角的に考察し，「多文化主義」や「共生」といった思想を探究し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている写真に加え，科学技術の発達がもたらした現代文明の課題に関する資料を，インターネットや図書館などを利用して収集し，レポートの作成，討論を行っている。 d：科学の実用化に伴う生活や環境の変化，現代文化の思想的な枠組み，現代文明による地球的規模での危機や新しい模索に関する基本的な知識を身につけている。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

〃	**第Ⅳ部まとめ主題学習Ⅳ資料を活用して探究する地球世界の課題**	・帝国主義の時代からグローバル化した「地球世界」が成立した現代までの歴史を再確認し，その課題から21世紀の世界を展望する。 ・地球世界の課題に関する主題を設定し，選択したその時代の資料を活用して探求し，表現する技能を学ぶ。	○	○	○	○	a：民族自決権に基づく国民国家の増大と，それら国家間の摩擦や協力体制が，現代の国際社会を動かしていることを確認しようとしている。 b：現代史におけるアメリカ合衆国の地位や役割を考察し，大量生産・大量消費の社会の特徴を考察し，文章にまとめる。 c：現代史を考察する際に，地球温暖化や環境破壊，エネルギー資源の枯渇など，人類が協力して取り組まなければならない問題の統計や資料を適切に活用している。 d：帝国主義の時代からグローバル化した「地球世界」が成立した現代までの歴史に関する基本的な知識を身につけ，その課題から 21 世紀の世界を展望することができる。	授業中の意欲・関心・態度・発問への回答・ワークの様子や定期考査・課題レポートなどによって行う 「歴史の見方・考え方」「知識・理解」といった観点から出欠状況などを考慮して、評価する。

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。